（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぴっころ円山			
○保護者評価実施期間	令和7年　3月　10日		～	令和7年　3月　21日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	12家庭	（回答者数）	10家庭
○従業者評価実施期間	令和7年　3月　10日		～	令和7年　3月　21日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	7人	（回答者数）	7人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年　3月　24日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ST・OTがいることにより、専門的な視点で見る事が出来る。	・STによる個別支援の関わり。またはその評価を支援や保護者面談につなげていく	・ST・OTが全職員とどんな関わり方が望ましいのか情報共有をし、個別場面以外の生活場面でも、その児童に適した関わりをする。
2	・職員の人数が多いので、1対1で関わることが出来る。	・逸脱する児童がいても、集団行動の流れを止めずに介入することが出来る。	・常に情報共有をし、状況やどんな対応をしたか全員がわかるようにする。
3	・小学校と連携を取る事により、本人への関わりを深める事が出来る。	・送迎時の情報共有や、場合によってはケース会議や書面での連携等。	・デイから積極的に関わりを作る必要があると考える。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・療育時間がタイトになってしまう。	・他校との下校時間が重なるので、数か所回る送迎ルートになってしまい、事業所到着が遅れてしまう。	・送迎範囲に合わせて利用曜日を振り分けするなど、受け入れ方法を工夫する。
2	・保護者同士での交流が少ない。	・勉強会等はあるが保護者様が繋がりを持って楽しめるような行事が無い。また、幼稚園・保育園と違ってクラス会や懇談会の開催の難しさもある。	・保護者様参加の行事を企画していく。
3	・手洗い場・トイレが、混雑しやすい。	・手洗い場とトイレが1つしかないので、混雑してしまう。	・ハード面として何か工夫出来る事は難しいので、手洗い等の流れや導線の工夫をしてくいく

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	多機能型事業所びっころ円山

公表日　令和7年　3月　24日

利用児童数 16家庭　回収数 15家庭

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15				運動活動も出来ているので確保されていると思います。	動と静の活動スペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	1		2	子どもはわかっているのでされていると思います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15				子どもは満足しているので問題ないと思います。	
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15				子どもは満足しているので問題ないと思います。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	5	2		8	通所４か月目なのでまだ不明。	公表しているので、公表時にもわかるように発信していく。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14			1		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13			2		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6			9		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	1	1	4	保護者に対してサポートやアドバイスはたくさんしていただいています。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14	1				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	1				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	1	12	通所４か月目なのでまだ不明。	職員がペアレントトレーニング研修に参加しているので、そういった会の開催や保護者会を検討しているが、実施には至っていない。 年中向けに就学に向けた研修会は毎年実施
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	2		1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14	1				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12			3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	1		8		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	11			4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	1		2		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	15				安心して親から離れているので、子も安心感を寄せていると思います。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14	1			「毎日いきたい」と楽しみにしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	15				大満足です。	

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	多機能型事業所ぴっころ円山

公表日 3/24/2025

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		午前午後で入数の区分分けを行なっているので、人数が多くならないように工夫している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		職員を加配している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		パーテーション等を使ったり、玩具の置く位置を色分けしている。また、特性に応じて個別型の使用をしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日々の清掃や清掃の徹底をしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		自由度ゼで使えない場所というルールを伝えている。学習や切り替えをする場所として認識している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎月職員会議等や朝礼を行ない、周知徹底や意見を図っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社内研修、ケース会議等を頻繁に行なっている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者の一つ一つ課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		毎回月に行なっている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		更新の際に担当者会議を行なっている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		行なっている。	保護者様にわかりやすい支援計画を心掛けているので、一目で支援方針がわかる計画表になっていないご家庭もあった。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等による確認しているか。			独自のアセスメント表を使っている。	客観に当てたアセスメントツールがあったら確保出来るかは分からない。また、作成したアセスメントの改良がなく、改良を検討。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容を踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			明確にしているが、本人支援の枠が大きく、他の支援記入欄が少ない。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		担当者であるが、全職員で決めている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			1Fで挙げているように気を付けているが、ルーティンの定着を図るためいちあるので回数が多くなってしまう元園も出てしまう。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		午前午後で朝礼・昼礼を行ない、反省や打合せをしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		朝礼・昼礼や適宜必要な場面で行なっている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援職員士・作業療法士の日常生活や個別の評価、保育士による	記入するポイント(現在の共有が難しく一目でわかるような内容じゃない事もある
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		○	相談支援事業所を利用しているご家庭が今現在ではいません。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○		ST・OTがいるので医療機関や繋がりのある幼稚園・保育園とは連携を取っているが、地域や学校は未確。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルーション推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			ご家庭や各関係機関にも情報共有に当事業所は積極的である事は伝えているが、希望していない家庭や関係のある園や幼稚園のみ、連携を図れている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			ご家庭や各関係機関にも情報共有に当事業所は積極的である事は伝えているが、希望していない家庭や関係のある園や幼稚園のみ、連携を図れている。
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センター や障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、機関的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	自立支援協議会などに部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		定期的な訪問の時に助言を頂いている。	
保護者への説明等	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			園所から来たないご家庭もあるので、全ご家庭と共通理解が持でている状況不通所ヒが、定期的に電話や面談を行なうなど、共通理解を持てるよう努めていた。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		職員がペアレントトレーニング研修に参加しているので、そういった会の開催や保護者会を検討しているが、実施には至っていない。 年明けに就学に向けた研修会は毎年実施
	35	事業規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		就学時からお伝えしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、最新や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		放課後聴士によるお勉強会や就学に関する説明会等は行なっているが、対象年齢があるため、一部の方のみの開催になっている。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HP やSNS等を活用することにより、活動風景や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○		情報発信を行なうようにしているが、勉強会や防災訓練の告知を徹底出来ていない。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いについて同意を得ている。	
	43	障害のあることもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域住民を招待した行事は毎年積対はしているが、どういった行事が適切か模索中。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、検証を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		就学・契約時に確認している。	
	48	食物アレルギーのあることもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	除去を徹底しているが、指示書に基づいた対応ではない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		契約時に説明をしているが、ご家庭と連携が図れるような説明にはなっていない。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、児童発達支援計画に記載しているか。	○			